



SDA AWARD



第59回 日本サインデザイン大賞／経済産業大臣賞 大賞セミナー
共英製鋼山口事業所新事務所棟

SDA

主催 / 運営：公益社団法人日本サインデザイン協会
協力：株式会社モリサワ

| 2026.02.27 Fri 18:00-

会場：株式会社モリサワ東京本社 東京都新宿区下宮比町 2-27

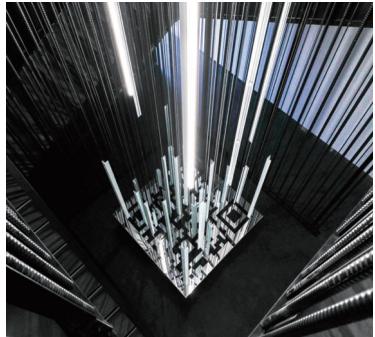
第59回 日本サインデザイン賞

日本サインデザイン協会（SDA）が発足して今年で 60 年を迎える。第 1 回の SDA 賞募集が行われたのが発足 1 年後のことなので、今回で第 59 回の SDA 賞ということになる。今年の最終審査会では、例年以上に多くの議論が交わされ、優れた作品が選ばれたことについて応募された皆様、審査員の皆様に感謝を申し上げたい。今回日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞となった「共英製鋼山口事業所新事務所棟」は鉄スクラップを鉄鋼製品へと再生する電気炉メーカーのオフィスビルである。我々はサインというものを自然現象から建築、空間領域まで広くサインと捉えてきたが、本作品は建築の外部、内部を通じて、力強く企業のメッセージ（=サイン）がデザインされていることに感銘をうけた。私たち日本サインデザイン協会は、この 60 年を通じて、多くのことをこの SDA 賞から学んできた。これらの記憶や記録をまた次の世代に繋げ、豊かな社会づくりに貢献できることを期待したい。（公益社団法人日本サインデザイン協会 / 会長 竹内誠）

共英製鋼山口事業所新事務所棟

第 59 回 日本サインデザイン大賞／経済産業大臣賞

大手電炉メーカー・共英製鋼の山口事業所新事務所棟の計画である。「リサイクル鉄の宇宙に包まれるオフィス」をテーマに、鉄の再生過程を建築として象徴的に表現している。外観は、工場にストックされる再生鉄のビレットに着想を得た積層構成とし、インテリアには同社の製品である山形鋼や鉄筋等を仕上材として活用している。同社のバーコードや QR コードをモチーフとし、照明と融合して空間構成することで企業のアイデンティティを可視化している。室名表示や階数表示等のサインにも同社の製品である異形棒鋼・丸鋼・等辺山形鋼・フラットバーを用いたデザインとし、デザインと素材の一貫性により、空間全体で共英製鋼のものづくりへの精神と先進性を体感できるオフィスとなっている。



講師

宮下 信顕 氏

建築家、エムアールスタジオ一級建築士事務所代表。1997 年東京理科大学大学院修了後、大手ゼネコンを経て 2017 年に同社を設立。「アイデンティティを可視化する建築デザイン」を軸に設計活動を展開。現在はアメリカ建築賞（シカゴ建築・デザイン博物館）など複数の国際建築賞で審査員を務めている。

主な受賞歴として、AIA 国際デザイン賞（米）、国際建築賞（米）、レッドドット・デザイン賞（独）、日本建築学会作品選奨等、国内外での受賞は 300 件を超える。



参加お申し込み

【セミナー：会場／ZOOM 配信】

日時 | 2026 年 2 月 27 日（金）18:00-19:15
参加費 [SDA 会員] | 無料（法人会員は 3 名まで無料）会員規則により
参加費 [一般] | 2,200 円（2,000+200 円）

【交流会：会場のみ】

時間 | 2026 年 2 月 27 日（金）19:15-20:50
参加費 [共通] | 5,500 円（5,000+500 円）

【会場】

株式会社モリサワ東京本社 | 東京都新宿区下宮比町 2-27

Peatix にて 2026 年 2 月 20 日（金）23:55 までにご連絡ください
イベントのお問い合わせ先 : SDA 事務局 mail: sda@sign.or.jp

【領収書について】

イベント終了後、インボイス対応領収書をメール添付にて送付いたします。

【キャンセルについて】

2026 年 2 月 20 日（金）23:55 までにご連絡ください交流会の期間中のキャンセルは、手数料を除いた参加費を払い戻しいたします。
連絡先 : sda@sign.or.jp

【プログラムについて】

悪天候、事故、災害、感染症の蔓延、通信障害、その他のやむを得ない事情によりプログラムが変更されることがあります。状況により参加費の払い戻しが出来ない場合がありますので、ご了承の上お申込みください。

【Peatix 申込 URL】

<https://sda-award2025.peatix.com>

